TOEFL®テスト対策講座

この講座は、公式テスト（TOEFL iBT®テスト）と、団体受験プログラム（TOEFL ITP®テスト）の各テストに対応したコースを用意しています。海外留学・大学院進学などみなさんの目的・ニーズに応じてコースを選択してください。

★この講座は、有限会社ビート米会話の講師が担当します。

留学徹底対策コース

海外留学・大学院進学を目指す方へ！

春セメスター

このコースは、海外留学や大学院進学などで必要となる、公式テスト・TOEFL iBT®テストの受験対策を目的としたコースです。テストで課せられるリスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの4技能に対して、バランスよく総合的なスキルを養成します。特に独学での対策が難しいスピーキング・ライティングの各セクションでは、テストを熟知したネイティブ講師が担当します。発音・単語や文法の正確性、話の展開・構成力、複合問題（Integrated task）への対策を重視した授業を行い、TOEFL®テスト特有の問題への対応力を習得することで総合的なスキルアップを図ります。

※このコースではライティング対策の個別添削は行いません。添削指導を希望する方は「Writing添削コース」を合わせて受講することをお勧めします。

ITPテスト対策コース

留学プログラムへの応募や英語団体受験への対策を目指す方へ！

秋セメスター

学内で募集される留学や海外研修プログラムへの応募で団体受験プログラムである TOEFL ITP®テストのスコア取得が必要な方、また英語団体受験でITPテストを受験する方向けのコースです。初めてTOEFL®テストを受験する方にもお勧めします。このコースではリスニング・リーディングの各セクションへの対策と同時に、文法対策を加えた英語の基礎力を固めることを目的として、総合的な英語力の向上を見据えたトレーニングを行います。英語で発話する機会も取り入れながら、アグレッシブな学習を提供します。

Writing添削コース

ライティング試験への徹底した対策を考えている方へ！

春セメスター　夏期集中　秋セメスター

公式テスト・TOEFL iBT®テストのライティング対策を目的としたコースです。ライティングセクションでは、文法・量・内容が重要なポイントで、複合問題（Integrated task）ではリスニング・リーディングのスキルと構成力が問われるなど、TOEFL®テスト特有の問題への対応が不可欠です。このコースでは、課題に対してエッセイを作成・提出し、ネイティブ講師による添削指導を通じて、解答を論理的に表現する力、ライティングに必要な構成力を習得します。「留学徹底対策コース」と合わせて受講すると効果的です。また本コースは春セメスターから秋セメスターまで年３回開講しますので、継続的に指導を受けることができます。

※このコースは4回の通信添削で行われます。

■ 受講コースの選択について

この講座は上記の3コースを開講します。みなさんの目的・ニーズに応じて必要なテスト（公式テスト：TOEFL iBT®テスト、団体受験プログラム：TOEFL ITP®テスト）を選択して、それに対応するコースを受講してください。「留学徹底対策コース」は春セメスター、「ITPテスト対策コース」は秋セメスターと、各コース年1回の開講となりますので、スコア取得を必要とする時期を見据えた受講計画を考えてください。

※TOEFL ITP®テストのスコアは、海外留学や大学院進学などで利用が認められるケースがありますが、利用の可否については必ず事前に応募・提出先の要項などを確認してください。

■ プレイスメントテスト・アチーブメントテスト：TOEFL ITP®テスト デジタル版

「留学徹底対策コース」・「ITPテスト対策コース」の受講生の方は、プレイスメントテスト・アチーブメントテストとして、TOEFL ITP®テスト デジタル版の2回の受験がセットになっています（受験料は無料です）。受講生の皆さんが自身の英語力を正確に把握し、講座学習の成果を検証する機会として提供しますので、必ず受験してください。

＊「留学徹底対策コース」のアチーブメントテストは、講座途中のリスニング・リーディングセクションの終了時での実施となります。

＊アチーブメントテストは、学内で実施される英語団体受験（TOEFL ITP®テスト デジタル版）と合同実施となります。受験が義務づけられている（受験料補助対象となっている）学部・回生の受講生の方は、英語団体受験とCLA講座のアチーブメントテストとで複数回受験することはできませんので、ご注意ください。＊詳細は講座内で案内します。

★ 公式テストの検定料補助について

ATTENTION

「留学徹底対策コース」（公式テスト対策）のアチーブメントテストはITPテストがセットとなっていますが、受講生の皆さんが，積極的に公式テスト（iBTテスト）にチャレンジすることを推奨し、公式テストの検定料の一部を補助します。

＊詳細については本要項の10ページの「CLAの検定料補助制度」をご覧ください。

シャドーイング（Shadowing）のすすめ

シャドーイングは、「音読」や「リピーティング」とともに英語のトレーニング法の一つで、聞いている英語音声のすぐ後を追って復唱することで、単語や文法の知識を無意識的に利用できる「英語脳」を作るのに有効な方法です。聞いてすぐ発音することで正しいアクセントやリズムを覚えやすく、繰り返すことで、「英語を英語として理解」して、英語のフレーズを自然に使えるように定着させることができます。4技能の能力のアップにもつながります。

様々な教材やアプリが多数出ているので、続けていけそうな教材を選んで利用するとよいでしょう。

■ 講座スケジュール・受講料

◆各講座ともコース定員は 20名 です。
各コースの最少催行人数は 15名 です。
受講申込者数がこれを下回った場合は「閉講」となることがあります。
＊Writing添削コースは最少催行人数の設定はありません。

◆ CLA講座の授業時間　CLA講座は 1回 80分で授業を行います。

春セメスター 秋セメスター	1日 2回 ①18:30～19:50 ②20:00～21:20
夏 期 集 中 春 期 集 中	1日 4回 ①9:30～10:50 ②11:00～12:20 ③13:20～14:40 ④14:50～16:10

TOEFL®テスト対策講座

※本講座はZoomによるライブ形式で授業を行います。
※Writing添削コース(通信制)については下表をご覧ください。

開講期間	開講コース	申込期間	開講発表	プレイスメントテスト	講 座 ス ケ ジ ュ ー ル						アチーブメントテスト
春セメスター	留学徹底対策コース	4/7(月)～4/22(火)	4/25 (金)	5/8 (木)	5/12(月)	5/15(木)	5/19(月)	5/22(木)	5/26(月)	5/29(木)	6/18(水)～6/20(金)
					①②	③④	⑤⑥	⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫	
					6/2(月)	6/5(木)	6/9(月)	6/12(木)	6/16(月)	6/23(月)	
					⑬⑭	⑮⑯	⑰⑱	⑲⑳	㉑㉒	㉓㉔	
					6/26(木)	6/30(月)	7/3(木)	7/7(月)	7/10(木)		
					㉕㉖	㉗㉘	㉙㉚	㉛㉜	予備日		
秋セメスター	ITPテスト対策コース	9/16(火)～10/7(火)	10/10 (金)	10/23 (木)	10/27(月)	10/30(木)	11/3(月)	11/6(木)	11/10(月)	11/13(木)	12/3(水)～12/5(金)
					①②	③④	⑤⑥	⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫	
					11/17(月)	11/20(木)	11/24(月)	11/27(木)	12/1(月)		
					⑬⑭	⑮⑯	⑰⑱	⑲⑳	予備日		

■ TOEFL®テスト対策講座　Writing添削コース

※本コースは通信添削です。

開講期間	申込期間	開講発表	回数	第1回	第2回	第3回	第4回	募集人数
春セメスター	4/7(月)～4/25(金)	4/28(月)	課題提示日	5/7(水) 10:30	5/21(水) 10:30	6/4(水) 10:30	6/18(水) 10:30	20
			回答提出期間	5/12(月)～14(水) 正午	5/26(月)～28(水) 正午	6/9(月)～11(水) 正午	6/23(月)～25(水) 正午	
			添削結果返却日	5/21(水)	6/4(水)	6/18(水)	7/2(水)	
夏期集中	6/16(月)～7/14(月)	7/17(木)	課題提示日	7/27(日) 10:30	8/3(日) 10:30	8/17(日) 10:30	8/24(日) 10:30	20
			回答提出期間	7/30(水)～8/1(金)	8/6(水)～8(金)	8/20(水)～22(金)	8/27(水)～29(金)	
			添削結果返却日	8/6(水)	8/20(水)	8/27(水)	9/3(水)	
秋セメスター	9/16(火)～10/7(火)	10/10(金)	課題提示日	10/22(水) 10:30	11/5(水) 10:30	11/19(水) 10:30	12/3(水) 10:30	20
			回答提出期間	10/27(月)～29(水)	11/10(月)～12(水)	11/24(月)～26(水)	12/8(月)～10(水)	
			添削結果返却日	11/5(水)	11/19(水)	12/3(水)	12/17(水)	

受 講 料

※受講料にテキスト代金は含みません。

講座名	コース名	授業回数	受講料(税込)	備考
TOEFL®テスト対策講座	留学徹底対策コース	32	48,000円	TOEFL ITP®テスト デジタル版の2回分の受験料無料
	ITPテスト対策コース	20	34,000円	
	Writing添削コース	4	5,600円	＊4回の通信添削です。

【CLA講座キャンセルポリシー】

CLA講座の受講料について、受講申込後にキャンセルする場合の受講料の取り扱いについては、下記の通りとします。

① 受講する講座の開講発表日の前日までに受講キャンセルの申し出があった場合は、受講料を全額返還します。
② 受講する講座の開講発表日の当日以降に受講キャンセルの申し出があった場合は、受講料は返還しません。
③ 言語習得センター側の都合により講座が開講中止となった場合は受講料を全額返還します。
④ 言語習得センター側の責に帰す事由（募集要項の記載ミス、説明・手続きミス等）により受講を継続できなかった場合、または言語習得センターから受講をお断りする場合は、未受講分の受講料を返還します。未受講分の受講料の算出方法は、受講料を総授業回数で按分した1コマ単価に未受講分のコマ数を乗じた金額とします（1円未満は切り捨て）。

受講キャンセルの申し出は、言語習得センター窓口への来室・電話・メールのいずれかの方法でご連絡ください。なお、窓口への来室・電話でのお申し出は、下記の言語習得センターの窓口時間内での受付となります（連絡先電話番号・メールアドレスは本要項の裏表紙をご覧ください）。

【言語習得センター窓口時間】＊衣笠・BKC・OIC　3キャンパス共通　月～金（土日祝日・大学の休業日を除く）
〔セメスター開講期間〕10:00～17:00　（＊11:30～12:30は昼休憩につき窓口は閉室します）　〔休暇期間中〕　13:00～17:00

■ 受講申込方法　★必ずよく読んで手続きを行ってください。

※CLA講座は、立命館大学の在学生のみ受講が可能です。

■ 申込から受講までのながれ

受講講座決定 → Step1 Web申込 → Step2 受講料支払い → Step3 受講案内確認 → Step4 開講発表 → 受講スタート

Step1 Web申込

● 立命館大学言語習得センターのホームページにアクセスしてください

https://www.ritsumei.ac.jp/gengo/cla/　*右のQRからもアクセス可

● Web画面の「**受講申込はこちら**」をクリック、申込手順を確認して画面下「**受講申込画面へ**」からWeb入力フォームに進み、必要事項を入力してください。

＊Web申込の際は必ず学内RAINBOWメールアドレスを登録してください。

● 入力後「**確認画面**」に進み、内容を確認して「**送信**」ボタンをクリックして受講料の支払画面に進んでください。

Step2 受講料支払い

受講料の支払いは、クレジット決済・コンビニ決済のどちらかを選択してください。

●クレジット決済

画面の指示にしたがって必要事項を入力してください。入力手続きが終了した時点で受講料の支払いが完了します。「受講申込確認メール」が届きますので確認してください。

●コンビニ決済

画面の指示にしたがって必要事項を入力してください。
入力完了後に「受講申込確認メール」とコンビニ支払いの案内メールの2つのメールが届きます。
選択したコンビニエンスストアでWeb申込日を含めて3日以内に支払いを行ってください。

★ 例えば、金曜日にWeb申込をした場合

＊3日を過ぎると自動的にキャンセルとなります。受講を希望する場合は再度Web申込を行ってください。

Step3 受講案内確認

受講料支払い完了後、CLA事務局で申込内容・入金を確認します。
確認後に「受講案内(シラバス)」を Web申込時の登録メールアドレス宛に送信しますので、必ず内容を確認のうえ受講に備えてください。

★TOEIC®L&Rテスト対策講座、TOEFL®テスト対策講座の受講者は、受講前にプレイスメントテストを受験します。受講案内と一緒に受験マニュアルをお送りしますので、必ず受験までに確認のうえ、準備をしてください。

Step4 開講発表

CLA講座は最少催行人数を下回った場合に「閉講」となることがあります。受講人数が最少催行人数を上回り「開講」が決定した場合は、CLAのホームページ内・各講座のページにある「講座スケジュール」に「開講決定」と表示します。必ずこのページで「開講決定」を確認して、テキストを購入してください。

★TOEIC®L&Rテスト対策講座は、開講発表後のプレイスメントテストによりコースが決定しますので、コース発表を確認のうえ所定のテキストを購入してください。

（表示例）

受講申込にあたっての注意事項

● 受講申込は「先着順」で受け付けます。同一講座の同一コースを重複して申し込むことはできません。

● Web申込が終了すると、申込時の登録メールアドレス宛に「**受講申込確認メール**」が配信されます。このメール受信を必ず確認し、受講開始まで必ず保管しておいてください。
※TOEIC®L&Rテスト対策講座を受講される方は、共通テキストの受け取り方法についてのアンケートフォームへの回答が必要となります。「受講申込確認メール」にアンケートフォームのURLが掲載されていますので、必ず回答してください。

● 受講定員を上回った時は「キャンセル待ち」となり、キャンセルが発生した場合に、順次繰り上げて「**空席案内メール**」を配信します。こまめにメールをチェックし、メール受信後は速やかに受講料の支払いを行ってください。

● 申し込んだ講座受講をキャンセルする場合は、「受講申込確認メール」の本文下にキャンセルフォームのURLが表示されていますので、そのURLにアクセスしてキャンセルしてください。

■ CLAの検定料補助制度

立命館大学言語習得センター(ＣＬＡ)では、受講生の皆さんが講座学習の成果を自身で検証できるよう、検定試験の受験を奨励し、検定料の一部補助を行っています。2025年度の検定料補助については以下の通りとなります。
本制度を活用し検定試験にチャレンジして下さい。

補助対象となる講座および検定試験

- TOEFL®テスト対策講座・留学徹底対策コースの受講生は、TOEFL iBT®テスト(公式テスト)を補助対象とします。
- IELTSテスト対策講座・留学総合対策コースの受講生は、IELTSテスト(公式テスト)を補助対象とします。

応募資格

次の2つの条件を充たしていることが申請要件となります。
① 上記対象講座の2025年度受講生(学部・大学院の正規学生)であること。
② 受講講座の総授業回数に対して80%以上の出席率であること。
＊出席率は、対象講座の総授業回数に0.8を乗じて算出します(小数点以下は切り捨て)。

〔その他条件〕
・検定料補助の申請は、1回の講座受講につき1回限りとします。
・補助対象となる検定試験は、講座終了日以降、翌々月末までに受験した検定試験です。
ただし、春期集中講座の補助対象となる検定試験は、2026年3月15日(日)の受験分までとします。
・2025年度の検定料補助の申請受付は、2026年3月19日(木)の17:00までとします。

申請方法

受験日から30日以内(受験日を含める)に申請フォームから申請してください。申請にあたっては次の2つの書類のアップロードが必要です(ファイル形式はPDF・PNG・JPEGのいずれかの形式)。事前に準備してください。
①検定料納付書(領収書)、その他支払いを証明するもの
＊クレジットカードの明細書は不可
②検定試験のスコアレポート(成績証明書)
＊②の書類が申請期日までに間に合わない場合は、①の書類のみで申請を行い、②については、入手後メール添付にて下記まで送付してください。

・メール送信先：gengocla@st.ritsumei.ac.jp
言語習得センター検定料補助担当宛

WEB申請はコチラから

補助金の支払いについて

補助金額は、10,000円とします。
申請フォームに入力された銀行口座(申請者本人名義の口座に限ります)へ振り込みます。

FAQ

CLA講座に関するよくある質問

Q. TOEIC®テストとTOEFL®テストの違いは何ですか？
A. どちらも英語能力を測定するテストですが、TOEIC®テストは主にビジネス上で求められる英語能力で、会議やメールなどビジネスシーンで使われる英語が多く出題されます。一方、TOEFL®テストは主に海外留学に必要な英語力をはかるテストで、社会科学や人文科学などのアカデミックな問題が多く出題されます。

Q. IELTSとTOEFL®テストのどちらを受験するか迷っています。
A. 将来留学を目指しているのであれば、留学先で必要とされるテストを選択してください。どちらも有効な場合は、出題内容や受験方式など各テストによって特徴が異なりますので、問題集やホームページで公開されているサンプルテストを解いてみて、自分が取り組みやすいと思えるテストを選ぶとよいでしょう。

Q. プレイスメントテストは必ず受験しなくてはいけないのですか？
A. TOEIC®L&Rテスト対策講座では受講するコース選択時にスコアが必要となりますので必ず受験してください。また、プレイスメントテスト・アチーブメントテストの各テストは、講座での学習成果を確認するテストです。無料で受験できる機会ですので、ぜひ受験してください。

Q. 自分の英語力に自信がなく、レベル分けの無いクラスで授業についていけるのか不安です。
A. ある程度の努力は必要ですが、講師の先生方は受講生一人一人の英語力を把握して適切なサポートをしてくれます。またグループワークでは学部や語学レベル・考え方の違う学生と接することがよい刺激となり、お互いを高めることにつながったという受講生がたくさんいます。

Q. 講座が始まる前に何かしておくことはありますか？
A. 申込完了時にシラバスをお送りしますので、テキストや参考図書に目を通しておくこと、時間があれば英語の速読の練習など、英文に慣れておくことをお勧めします。Youtubeなどで英語の動画を見るのもよいでしょう。

Q. 講座では課題・宿題がどれくらいありますか？
A. 受講する講座・コースによって異なりますが、多くの受講生が予習・復習を含めて、1～2時間程度、勉強に時間を費やしています。

Q. 研究発表や就職活動で出席できない回がありますが、何かフォローはありますか？
A. 授業内容や課題はお知らせしますので、次の授業までに自習をしていただくことになります。質問などは講師の先生も応えてくれます。なお授業を欠席される場合は、必ずコースツールで欠席連絡を行っていただきます。

テストについて知る
TOEFL®テスト

TOEFL®テストは、英語を母国語としない人の英語力を測定するテストです。世界160ヶ国以上、11,500以上の団体で実施されています。英語圏の大学などへの留学や海外研修プログラムなどに応募する際に、TOEFL®テストのスコアが求められることも多く、海外留学へのパスポートとも言えるテストです。 英語圏の大学での講義を理解し、日常生活を送る英語運用能力を測るテストですので、社会科学や自然科学などアカデミックな内容が多いのが特徴で、難易度の高いテストと言われています。

TOEFL®テストには、公式テスト：TOEFL iBT®テストと、学校などが実施する団体受験プログラム：TOEFL ITP®テストの2種類があります。テストの内容、スコアとその利用範囲が異なりますので、求められる要件を確認して、受験するテストを選択してください。

■ TOEFL®テストの試験概要・構成

◆ TOEFL iBT®テスト

現在国内で実施されている公式テストはTOEFL iBT®です。テストは、Listening, Reading, Speaking, Writingの4つのセクションで構成され、すべてコンピュータを利用して受験します。試験時間は約2時間で、テスト結果は0～120のスコアで表示されます。海外の大学への留学や進学の際には公式テストのスコアが求められることが多く、SpeakingやWritingでは読解力・リスニング力を含めたアウトプットのスキルが必要となります。

◆ TOEFL ITP®テスト

大学などの団体向けプログラムで、マークシート方式とオンライン方式〔TOEFL ITP®テスト デジタル版〕があります（出題・解答形式やスコア評価などは同じです）。テストは、Listening, Structure, Readingの3つのセクションからなり、試験時間は約2時間、スコアは310～677で表示されます。スコアは公式スコアではありませんが、学内の留学プログラムや就職活動での提出などで利用できる場合があります。
＊スコアの利用の可否については、必ず事前に提出先に確認してください。

●TOEFL iBT®テストの試験構成

Section	問題数・形式	時間	スコア
Reading	2 Reading Passages （各10問） アカデミックな長文読解問題（自然科学・社会科学・芸術などの分野から出題）	35分	0～30
Listening	3 Lectures（各6問） 2 Conversations（各5問） 幅広い教養科目を題材にした講義、教授と学生との会話などを題材とした出題	36分	0～30
Speaking	Independent Task（1問） Integrated Tasks（3問） 身近なトピックについて意見を述べる／読み・聞きした内容を要約して話す	16分	0～30
Writing	Academic Discussion Task（1問） 教授の質問に対してクラスの人の意見を読み、自分の意見を述べる Integrated Task（1問） 読み・聞きした内容を要約する	29分	0～30
合　計		約2時間	0～120

●TOEFL ITP®テストの試験構成

Section	問題数・形式		時間	スコア
Listening Comprehension	北米で話されている標準的な英語を聞き取り、内容を理解する力を測定。音声を聞き、それに関する質問について4つの選択肢から解答を選択。（50問）	PartA 二人の話し手の会話 PartB PartAより少し長めの会話 PartC 短めの話	約37分	31～68
Structure and Written Expression	標準的な文章表現や文法の知識を測定。文中の下線部に正しい語句を補完し文章を完成させる問題や文章中の誤った表現を選択する問題（40問）		25分	31～68
Reading Comprehension	大学の授業で取り上げられるようなトピックについて読解力を測定。社会科学や自然科学などの幅広い分野から出題される。（50問）		55分	31～67
合　計			約2時間	310～677

■ TOEFL®テストのスコアレベルについて

iBT	ITP	ガイドライン	必要とされるスコア
100-120	600-677	ビジネスや大学生活を送るうえで、会議や授業で普通に話すネイティブスピーカーの言葉も困難なく聞き取り、不自由なくコミュニケーションができる。	海外大学院留学や海外でのビジネス
79-100	550-600	ビジネスや大学等の場面で、会議や授業で普通に話すネイティブスピーカーの言葉が聞き取れ、柔軟なコミュニケーションがとれる。議論や様々な話題についていけ、質疑応答も可能。	海外の学部留学 国内大学院進学
61-79	500-550	日常会話のコミュニケーションはほぼ支障がない。ビジネスや講義で自分の専門分野や興味のある話題に関して内容を理解でき、自分の意見を説明したり、明確な文書を作成できる。	
45-61	450-500	ビジネス・日常生活において一般的な事柄について、内容を理解し自分の考えを表現できる。	
32-45	400-450	日常的な事柄や仕事に関する簡単な文書を読むことができる。通常の会話で自分と関係のあることに関して簡単な言葉でコミュニケーションが可能。	大学在学中に目指したいレベル
17-32	350-400	日常よく使われる表現や基本的なフレーズを用いて必要最小限のコミュニケーションが出来る。	

TOEFL®テストのスコアレベルと、英語運用能力の関係についてまとめたのが左の表となります。英語学習の目標を考える際の参考としてください。

海外留学に必要なスコアとしては、英語圏の大学進学の場合、iBTで80点が目安と言われています。大学や参加するプログラムにより幅がありますので、留学先の応募要項などで確認してください。

テストの詳細・申込方法などは試験運営団体のホームページをご覧ください。

ETS Japan合同会社 TOEFL®テスト日本事務局
https://www.etsjapan.jp/